



日本学生科学賞で環境大臣賞の快挙!再び世界へ!



12月23日(水), が ZOOM で行われ, 24日(木)に表彰式がありました。

理数科サイエンス部3年生物班の3名が, 「出水市に侵入したリュウキュウアブラゼミ」の研究で日本学生科学賞の最終審査に臨み, 「環境大臣賞」を受賞しました! 日本学生科学賞は日本で最も歴史のある科学コンテストです。上には文部科学大臣賞と内閣総理大臣賞しかありません。文部科学大臣賞が2件ありましたので, 全国ベスト4ということになります。「環境大臣賞 高校の部, 鹿児島 国分高校」のコール。思わず涙が溢れました。その後, 2021年5月に行われる ISEF (国際学生科学技術フェア) への推薦校としても国分高校の名前がコールされました! 理数科3年生物班の皆さん, 本当におめでとう。



第1回 県探究コンテスト出場報告

1月21日(木), 今年から始まった「鹿児島県探究コンテスト」が鹿児島県庁で開催されました。12月末までに4ページの研究論文を提出し, それをもとに1次審査が行われ, 社会科学分野で3チーム, 自然科学分野で3チームが最終審査に臨みました。

国分高校からは理数科地学班と理数科生物班が自然科学分野の最終審査に残り, 各班3名ずつが出場しました。つまり自然科学分野3チームのうちの2チームが国分高校ということです。

会場は県庁の16階。普段なかなか来ないところです。皆さんの前でポスター発表という初めての形式で, 生徒たちはちょっと戸惑っていました。

地学班は全体の5番目に発表。国分平野の活断層の研究です。落ち着いていい発表ができました。

表彰式。自然科学分野, 栄えある第1回最優秀賞は, 「国分高校 地学班」でした!



令和2年度 SSH成果発表会!



1月29日（金）の午前中、第一工業大学のホールや講義室をお借りして令和2年度SSH成果発表会が行われました。今日はこの日のためにポスター発表、プレゼンテーション発表の準備をしてきた普通科・理数科の1・2年生の発表の場です。

観客席に座っているのは1・2年生の偶数班の生徒たちです。奇数班の生徒たちは後半のステージ発表を参観します。これも密を避けるためです。座席も1つおきに座っているのがよくわかります。当然全員マスクをしています。ポスター発表のメイン会場である「アゼリアホール」の様子です。窓を開けて換気を徹底して実施するため、コートの着用も許可されました。

共通テスト 1日目スタート



1月16日（土）朝、共通テストの1日目開始です。9時の入室開始に合わせて、3年生の先生方は試験会場である第一工業大学に向かいました。

車で送ってもらう生徒、電車を降りて駅から歩いてくる生徒、自転車で普通に登校するスタイルの生徒と様々です。今年度はコロナウイルス感染症対応のため、第一工業大学の試験会場には受験生のみしか入ることができません。先生方はぎりぎりのところまで行き、（しかし、入り口が3か所に分かれているため手分けして）入場する生徒らを見送りました。

担任から、元気を出す得点アップのおまじないの込められたキットカットをもらいながら、暖かい日差しの中試験場に入っていました。

図書委員会が作成した「先生方おすすめの本」のコーナーです。

この冊子自体も読み応えがあり、これ読んでみようかな、と思わせてくれます。入り口から入ってすぐのところは、今こんな感じになっています。読みたくなる本がきっと見つかると思います。皆さん、ぜひ図書館にお立ち寄りください。

